

刊行にあたって

本市では、平成 19 年 10 月に環境基本計画を策定し、その後、改定を行ってきました。本計画では、以下の 4 つを政策目標に掲げ、市民・NPO、事業者の皆様とともに、様々な環境政策に取り組んでいます。

1 つ目の政策目標である「市民環境力の発展・『北九州環境ブランド』の確立」に向けては、ESD（持続可能な開発のための教育）の普及啓発活動を「北九州 ESD 協議会」を中心に推進するとともに、「北九州市環境首都検定」の実施など様々な取組を通じて、市民一人ひとりのエコライフの実践を促進しています。

また、本市の公害克服の経験やノウハウを活かした環境国際協力や、アジア低炭素化センターを通じた環境国際ビジネスも推進しています。

2 つ目の「超低炭素社会・脱炭素社会の実現」に向けては、温室効果ガスの削減を図るため、再生可能エネルギーの導入量トップを目指した取組や、省エネの推進、水素に関する取組などを積極的に進めています。

また、「ゼロカーボンシティ」や「気候非常事態宣言」を表明し、『環境と経済の好循環』による 2050 年までの脱炭素社会を実現するため、これらの取組を強力に推進していきます。

3 つ目の「循環システムの構築」に向けては、一般廃棄物のリサイクル率政令市トップを目指し、ごみの減量化・資源化などの取組を進めるとともに、わが国最大級のリサイクル事業の集積を誇る北九州エコタウンにおいても積極的にリサイクルを進めています。

また、プラスチックごみ対策として、「排出削減」、「リユース・リサイクル」、「徹底回収」などの観点から、総合的な取組を進めています。

さらに、生物多様性の確保に向け、自然環境の保全にも取り組んでいます。

4 つ目の「豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上」に向けては、環境施策の原点である、微小粒子状物質（PM2.5）等の大気汚染や水質汚濁の防止、まち美化などの取組を着実に進めています。

また、本市は、環境の強みを活かして SDGs に積極的に取り組んでおり、「SDGs 推進に向けた世界のモデル都市」や「SDGs 未来都市」に選定されるなど、国内外から高い評価を受けています。

今後も引き続き、これまで市民・NPO、事業者の皆様が育ててきた「市民環境力」を発揮しながら、環境の絆で結ばれた豊かな暮らしが実感できるまちを目指していきます。

また、新型コロナウイルス感染症への対応として、「新しい生活様式」に基づく環境施策の取組もしっかりと実施してまいります。

なお、小誌は、令和 2 年度の本市の環境の現状と環境保全の政策をまとめたもので、皆様に広く活用され、本市の環境行政に一層のご理解、ご協力をいただければ幸いです。